

「長期ビジョン(中間案)」のスケルトンと展開

<現状と潮流>

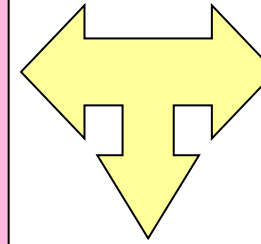
地球規模の環境問題
資源エネルギー食料問題
少子高齢化・低成長経済
グローバル化社会

<変化と歪み>

大量生産・大量消費・
大量廃棄の時代の終焉
格差拡大や貧困
コミュニティ崩壊の危機

<府民の意識>

こころの豊かさへ
暮らしの不安
将来の不安
社会の閉塞感



「人」・「知恵」・「時」・「地域」
が築き上げてきた京都力

- ・自然との調和
- ・歴史と伝統文化
- ・人間関係を育む感性
- ・本物を愛でる心
- ・進取の気風
- ・個性と魅力ある資源 等

<大切にしたい価値観>

人の絆と
コミュニティ

「質」と「こころ」
の時代を先導

世界に貢献

具体の社会像は

<めざす社会の姿>

「人・間中心」の京都

自由で多元性のある京都

環境と文化が持続し
発展する京都

交流し価値を創造する京都

すべての地域が輝く京都

実現のための

<基本方向>

一人ひとりが持てる力を発揮で
き、希望とやりがいのある社会と
なるよう

府民安心の再構築

互いを認め合い、ともに支え合う
こころの通った社会となるよう

地域共生の実現

時代の転換を発展の機会と捉え、
すべての人や組織、地域が生き
生きと活動する京都となるよう

京都力の発揮

「長期ビジョン(中間案)」の概要

【10年ないし20年先を展望して、これからめざそうとする5つの京都府社会の姿】

（「人・間中心」の京都）

個人の尊厳と人権、多様な価値観・生き方が尊重され、だれもが豊かな人間性を育み、自立と自分の夢の実現に向かって力を開花させることのできる幸せ実感社会

（自由で多元性のある京都）

多様な組織・個人が対等の立場で水平的に結びつき、自らの目標に向かって自由闊達に活動し、社会に進歩と活力をもたらす新しい多元的な社会

（環境と文化が持続し発展する京都）

京都が世界に誇るかけがえない環境や文化が、府民一人ひとりの熱意と努力により大切に守られ、発展し、次の世代にしっかりと引き継がれる社会

（交流し価値を創造する京都）

環境と開発、経済と文化などの対極的な価値観が調和し、多様な人、世代、産業、地域の中に活発な交流と協働が生まれ、新しい価値が創り出される社会

（すべての地域が輝く京都）

すべての地域が、壮大で夢のある将来を展望しながら、個性と活力ある地域づくりが進められ、世界とつながり、未来に向かって光り輝く社会

【新たな京都づくりに向けた3つの基本方向】

府民安心の再構築

だれもが安心して暮らせる京都づくり

◇子育て・子育ての安心

（安心して子どもを産み、育てられる社会へ）

◇学びの安心

（生涯を通じて、一人ひとりの個性と能力を伸ばす教育機会が保障された社会へ）

◇働きの安心

（やりがいのもてる仕事への就業機会が確保された社会へ）

◇医療・福祉の安心

（健康で突然の病気やけがなどでも困窮することのない社会へ）

◇長寿の安心

（安心して年齢を重ね、長寿を謳歌できる社会へ）

◇暮らしの安心

（犯罪や事故の危険性が小さく、災害にも強い社会へ）

地域共生の実現

地域社会が信頼の絆で結ばれ、つながり、支え合う互助・互恵の京都づくり

◇人権尊重

（一人ひとりの尊厳と人権が尊重され、だれもが自分らしく生きることのできる社会へ）

◇地域力再生

（地域の課題解決に向け、地域のみんが連携・協働する社会へ）

◇新たなコミュニティづくり

（自由で開かれた新しいタイプのコミュニティのある社会へ）

◇男女共同参画

（男女が対等・平等な存在として自己実現できる社会へ）

◇ふるさと定住

（だれもが生まれ育った土地に住み続けられる魅力ある社会へ）

京都力の発揮

時代の変化の先頭に立ち、新しい「質」と「こころ」の時代の要請に応える生活、産業、地域の新たな成長と発展を実現する京都づくり

◇人づくり

（次代の京都を担う人や、世界を舞台に活躍する人づくりの京都へ）

◇環境の「みやこ」

（持続可能な人類社会のモデルとして世界の範となる環境を実現する京都へ）

◇文化創造

（豊かな伝統文化を継承し、新しい文化が次々と萌芽する卓越した文化力のある京都へ）

◇産業革新・中小企業育成

（京都経済を支える中小企業が安定した経営を行う中で、未来を切り拓く産業のイノベーションが進展する京都へ）

◇交流連帯

（府域の内外を快適に移動でき、世界中から人々が集い交わる京都へ）

◇希望に輝く地域づくり

（夢のある地域構想が展開する京都へ）